

2020年度秋期

# スーパーバイザー士筆記試験

2021年1月13日(水)実施

13:30~14:30

## 3. 財務・問題解決

(該当講義 講義③、⑥、⑦)

### 答案作成上の注意

- ◇ 解答用紙の所定の欄に氏名を記入してください。
- ◇ 係りの合図があるまではこの表紙をあけないでください。
- ◇ 解答は解答用紙に記入してください。
- ◇ 試験時間は60分です。
- ◇ 試験開始後30分で退出できます。
- ◇ 退出される際には、出入口にいる事務局員に解答用紙を提出してください。
- ◇ 再入場はできません。



一般社団法人

日本フランチャイズチェーン協会

財務諸表の知識(税務含む)

【問題 1】 配点 20 点 (各 2 点)

減価償却とは、使用することによってその価値が減少する資産（減価償却資産）の取得価額をその使用可能期間に費用配分する計算手続きです。減価償却資産の償却方法については、それぞれの資産の区分に応じて選定できる償却方法が異なりますが法人税法においては、例えば次の表のような償却方法を選定することができます。また、次の表には法人が税務署に償却方法の選定の届出をしなかった場合のそれぞれの資産の区分に応じた法定償却方法も記載してあります。

資産の区分		選定できる償却方法	届出をしなかった場合の償却方法（法定償却方法）
建物	平成 10 年 3 月 31 日以前に取得	定額法または定率法	定率法
	平成 10 年 4 月 1 日以後に取得	定額法のみ（届出の必要はなし）	
建物附属設備、構築物	平成 28 年 3 月 31 日以前に取得	定額法または定率法	定率法
	平成 28 年 4 月 1 日以後取得	定額法のみ（届出の必要はなし）	
工具器具備品、機械装置、車両運搬具		定額法または定率法	定率法
無形減価償却資産（ソフトウェア）		定額法のみ（届出の必要はなし）	

なお、中古取得した資産の減価償却計算を行う場合の耐用年数は、その資産の残存耐用年数を合理的に見積ることが原則となっていますが、実務においては「合理的に見積もること」が困難な場合が多くみられます。そこで税法においては、次の表のような方法で計算した耐用年数を使用することができるものとしています。

【簡便法による耐用年数計算】

法定耐用年数の全部を経過している場合	法定耐用年数×20/100
法定耐用年数の一部を経過している場合	(法定耐用年数－経過年数) +経過年数×20/100

(注) 上記算式で 1 年未満の端数は切捨て、また、2 年未満となった場合は 2 年とします。

前述をふまえて以下の解答欄に指定された減価償却費の額を解答してください。  
計算結果に 1 円未満の端数が生じた場合には、その端数を切り捨てることとします。

計算にあたり必要な資料は以下のとおりです。

【定率法償却率】

法定耐用年数 42 年＝0.048	同 41 年＝0.049	同 7 年＝0.286	同 6 年＝0.333
同 5 年＝0.400	同 4 年＝0.500	同 3 年＝0.667	同 2 年＝1.000

【定額法償却率】

法定耐用年数 42 年＝0.024	同 41 年＝0.025	同 7 年＝0.143	同 6 年＝0.167
同 5 年＝0.200	同 4 年＝0.250	同 3 年＝0.334	同 2 年＝0.500

① 資産 A：中古乗用自動車（前の所有者が既に 3 年使用したもの）

- ・取得価額：1,200,000 円
- ・償却方法：定率法
- ・新品の乗用自動車の法定耐用年数：6 年
- ・毎期の事業供用月数：12 か月

② 資産 B：乗用自動車（新車）

- ・取得価額：6,000,000 円
- ・償却方法：定率法
- ・新品の乗用自動車の法定耐用年数：6 年
- ・毎期の事業供用月数：12 か月

③ 資産 C：新築建物

- ・取得価額：18,000,000 円
- ・償却方法：定額法
- ・新築建物の法定耐用年数：41 年
- ・毎期の事業供用月数：12 か月

④ 資産 D：新品パソコン

- ・取得価額：350,000 円
- ・償却方法：定率法
- ・新品パソコンの法定耐用年数：4 年
- ・毎期の事業供用月数：12 か月

**【問題 2】** 配点 5 点（各 1 点）

次の記述が正しい場合は○を、間違っている場合には×を解答欄に記入して下さい。

1. 税金を納める義務がある人と実際の税金負担者とが異なる「消費税」は、間接税と呼ばれている。
2. 消費税の確定申告期限及び納付期限は、一般的に決算日後 1 ヶ月以内となっている。
3. 流動資産とは、主に 1 年を超えて現金に換金できる資産のことで、流動負債も同様に 1 年を超えて決済（支払い）を行う債務のことをいう。この 1 年を基準に「流動」と「固定」を分類することを「ワンイヤールール」という。
4. 借入金を金融機関に返済する際の元金返済に関する取引は貸借対照表のみに計上される取引となり、元本返済とともに支払う利子（支払利息）は、損益計算書に計上されるものである。
5. 法人税が課税される法人の種類は、「株式会社」のみである。

**【問題 3】** 配点 5 点（各 1 点）

次に掲げる勘定科目群から貸借対照表で固定資産の部に計上されるものを 5 つ選んで解答欄に記入して下さい。

**【勘定科目語群】**

現金、長期借入金、定期預金、ソフトウェア、当期仕入高、資本金、建物、車両運搬具、買掛金、売掛金、未払金、短期借入金、支払利息、工具器具備品、未払費用、消耗品費、土地、当座預金、支払手形、普通預金、預り金、売上高、売上総利益、減価償却費

**【問題 4】** 配点 10 点 (各 1 点)

次の①～⑩の取引から解答用紙の貸借対照表を作成してください。特に記述のない場合には、それぞれの取引は現金で行ったこととします。また、消費税については考慮しないで解答してください。なお、解答にあたっては数字の単位に十分気をつけてください。

- ① 当社は 01 年 4 月 1 日に資本金 1,000 万円で設立しました。決算期は 3 月 31 日です。今期の事業年度は 01 年 4 月 1 日～02 年 3 月 31 日 (以下、「今期」という)
- ② 今期の売上高は 1 億円であり、このうち 300 万円は未回収 (売掛金) です。
- ③ 今期の仕入高は 6,000 万円であり、このうち 200 万円は未払い (買掛金) です。
- ④ 02 年 3 月 31 日に商品の棚卸しを行った結果、仕入金額ベースで 150 万円分ありました。
- ⑤ 今期の役員・従業員に対する給与は総額で 1,600 万円でした。
- ⑥ 01 年 4 月 1 日に金融機関から 2,000 万円借入れをしました。返済期間は 7 年です。今期の元本返済額は 350 万円であり、今期はこの元本返済の他に支払利息 40 万円を支払いました。
- ⑦ 固定資産 (器具備品) の購入価額は 2,000 万円であり、01 年 4 月 1 日から事業用として使用しています。
- ⑧ 上記⑦器具備品の耐用年数は 10 年 (定率法による償却率は 0.20) です。定率法により今期の減価償却費を計算してください。
- ⑨ 今期に支払った家賃は 1,000 万円でした。
- ⑩ その他今期の諸経費として 1,100 万円支払いました。

**計数管理の知識**

**【問題 5】** 配点 18 点 (各 2 点)

次の文章を読み、正しいものに○、誤りのあるものに×を解答欄に記入してください。

- ① 総資産経常利益率を把握することで、企業の財務上の安全性を分析することができる。
- ② 総資産回転率は、回転数が少なければ少ないほど効率的に資産を活用している。
- ③ 売上高営業利益率を向上させるためには営業外費用を削減することが必要である。
- ④ 商品の廃棄ロス削減することは、売上原価率の低減には結び付かない。
- ⑤ 損益分岐点比率は、数値が高いほど良好といえる。
- ⑥ 損益分岐点の引き下げは、変動費率の引き上げと固定費の引き下げにより実現できる。
- ⑦ 流動比率は、100%以下が理想とされる。
- ⑧ 固定長期適合率は、100%以上が最低必要水準である。
- ⑨ 自己資本比率向上は、収益性を改善し、利益を上げて内部留保することで実現できる。

【問題 6】 配点 12 点 (各 3 点)

下表はカフェを運営する FC 加盟店の月次損益計算書です。次の文章の空欄に適切な記号 (大文字のアルファベット) を語群より選択し解答欄に記入してください。

項目		金額(千円)	構成比
売上高		3,444	100.0%
売上原価		985	28.6%
売上総利益		2,459	71.4%
販売費・一般管理費		1,872	54.4%
販管費の内訳	人件費	976	28.3%
	水道光熱費	182	5.3%
	販売促進費	47	1.4%
	減価償却費	138	4.0%
	地代家賃	324	9.4%
	ロイヤルティ(売上連動)	103	3.0%
	その他経費	102	3.0%
営業利益		587	17.0%

当店の損益分岐点売上高は、売上原価と売上連動のロイヤルティを変動費とし、ロイヤルティを除く販売費・一般管理費を固定費とすれば( ① )である。したがって、損益分岐点比率は( ② )、安全余裕率は( ③ )となる。固定費及び変動費率を現状維持とした上で営業利益 1,000 千円を達成したい。そのためには、目標売上高は( ④ )が必要になる。

【語 群】

A.2,586 千円 B.5,599 千円 C.4,048 千円 D.8,765 千円 E.2,722 千円  
 F.79.0% G.75.1% H.24.9% I.21.0%

## 問題解決手法

### 【問題 7】 配点 10 点 (各 2 点)

以下の問いに記号で答えなさい。

1. 問題にはいくつかの型がありますが、以下の記述で正しいものを選びなさい。
  - ア) 発生型問題とは、現状をもっと良くしたいというところから生じる問題である。
  - イ) 発生型問題は、原因志向型問題とも呼ばれている。
  - ウ) 設定型問題とは、現在設定している目標との差異が生じた場合の問題を指す。
  - エ) 未達問題は、設定型問題のうちのひとつのパターンである。
  - オ) 回避問題は、探索型問題のうちのひとつのパターンである。
2. 問題を把握するために必要なものはどれか、以下から選びなさい。
  - ア) あるべき姿 (目標) と現状
  - イ) 原因と課題
  - ウ) 課題と対策
3. MECEになっているのはどれか？
  - ア) 飲み物は、ノンアルコール飲料とアルコール飲料に分解できる。
  - イ) 飲み物は、清涼飲料と炭酸飲料に分解できる。
  - ウ) 飲み物は、お酒と炭酸飲料に分解できる。
4. 正しい因果関係について、以下の記述で間違っているものはどれか？
  - ア) 売上が低下したので賞与が削減された。
  - イ) 業務改善を行ったので一人当たりの生産性が改善した。
  - ウ) 雑誌で自店のことが取り上げられたので客数が増加した。
5. 発想法に関して、以下の記述で正しいものはどれか？
  - ア) ブレインストーミング法は、収束法の一つで設定されたテーマに対して解答を導き出すための手法である。
  - イ) ブレインストーミング法は、発散法の一つで出来るだけ多くのアイデアを出すための手法である。
  - ウ) KJ法を開発したのは、オズボーンというアメリカの思想家である。

### 【問題 8】 配点 10 点 (各 2 点)

SVが行う問題解決に関する以下の記述について、正しいものには○を、間違えているものについては×で答えなさい。

- 1) SVは、本部の理念や方針を正しく理解していなければならない
- 2) SVにとって、加盟店の売上を上げることが最も重要であり、利益までは考慮する必要はない
- 3) 問題が発生したら、まずは「なぜ(Why)？」と問いかけるべきだ
- 4) 細かい原因分析を行ったうえで対策を考えるよりも、経験に基づいた対策をすぐに実施する方が大切だ
- 5) 問題の細分化は、原因がわかりづらくなるため行うべきではない

【問題 9】 配点 10 点（各 2 点）

以下の文章の空欄に正しい言葉を語群から選び、記号で答えなさい。

- ・問題発生には必ず原因＝インプットとプロセスがあります。つまり、原因⇒問題発生には、（ ① ）、（ ② ）という二つの原則があるということです。
- ・原因究明に際して活用できるフレームワークとして「3C分析」があります。（ ③ ）、（ ④ ）、（ ⑤ ）の視点で環境変化を分析して原因究明に活用します。

（語群）

- ア) 改善
- イ) 比較
- ウ) 許容度を超える
- エ) 因果関係が存在する
- オ) 継続性がある
- カ) 時間的順序がある
- キ) Competitor
- ク) Communication
- ケ) Customer
- コ) Counseling
- サ) Consulting
- シ) Company
- ス) Control
- セ) Coordination